

enplas

平成22年3月期(第49期)中間報告書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

株式会社 **エンプラス**

(証券コード：6961)



エンプラス企業理念

Enplas Corporate Philosophy

わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客さまに感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、

創造的価値を世界市場に提供します。

経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。

目次

エンプラス企業理念	1	四半期連結財務諸表	7
株主の皆様へ	2	会社概要・株式情報	9
事業の概況	3	事業所・グループ会社紹介	10
部門別概況	5		



株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、世界経済は昨年のリーマンショック以降、各国が経済危機に直面する中で、欧米における自動車購入支援政策や日本におけるエコポイント制度、中国における家電下郷など、さまざまな財政出動による景気刺激策が打ち出されたことにより、市場環境は徐々に回復の兆しを見せはじめております。

しかしながら、財政出動によるこれらの政策は、安定的な成長を生み出すものではなく、当社が継続的に事業規模を確保していくためには、依然予断を許さない厳しい状況が続いているものと認識しております。

このような状況下、当社では昨年度実施した収益改善策や構造改革による大幅な固定費削減、およびLED関連の新製品の上市等により業績は底を打ち、第2四半期には黒字化致しました。但し、受注状況が最悪期を脱したとはいえ、為替や原油価格の不確実性もあり、下期以降の見通しについても慎重に見極めながら諸施策を実施していく必要があると考えております。

新たな機能本部制によるものづくり力の強化、基幹システムの導入による業務品質と生産性の向上や業務標準化の推進など、引き続き既存業務の改善策を推進し、更なるお客様価値の向上に向けて邁進してまいります。

先行き不透明感が続く中、今後も厳しい経営環境が続くものと想定されますが、新規事業につながる諸施策を加速させ、社員一同、新しい価値の創造に向けて全力で取り組んでまいり所存です。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長

横田大輔

事業の概況

当第2四半期累計期間における世界経済情勢は、一部の省エネ家電の普及や中国の内需拡大もあり、景気の緩やかな回復も見受けられますが、昨年秋からのサプライム問題に端を発した景気減速の影響が残り、实体经济の先行きは未だ不透明な状況であります。

当社グループが関連する電子部品業界におきましては、市場が緩やかに回復し、在庫調整が緩和された市場と引き続き在庫調整や設備投資を抑制する厳しい環境の市場が混在した不透明な経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは基幹事業であるエンブラ事業のグローバル展開の拡大と半導体機器事業の再構築、LED関連事業の再構築と新製品の拡大、そしてオプト事業の海外生産移管等による製造原価低減等による早期収益力回復を目指して推進してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は8,022百万円（前年同期比36.6%減）となりました。収益面におきましては、生産効率の向上による売上原価率の低減が図られ、また固定費の大幅な減少も寄与して営業損失は324百万円（前年同期は294百万円の営業損失）、経常損

失は327百万円（前年同期は106百万円の経常損失）となりました。また、過年度消費税還付金20百万円等の特別利益と金型及び機械装置等の固定資産除却損27百万円等の特別損失の計上により、四半期純損失は440百万円（前年同期は1,094百万円の四半期純損失）となりました。

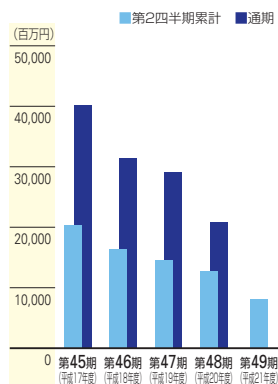
第49期経営基本方針

1. お客様価値の追求
2. 差別化製品の開発上市
3. 低コスト化技術の開発、推進
4. 標準化、共有化による業務品質の向上

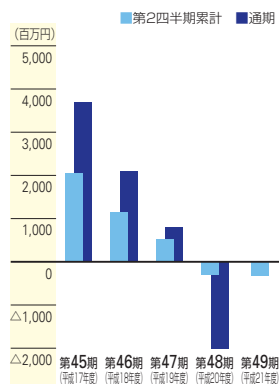
連結業績の推移

	第45期		第46期		第47期		第48期		第49期
	中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	通期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	通期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	中間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	通期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	通期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高 (百万円)	20,368	40,189	16,343	31,444	14,498	29,112	12,643	20,796	8,022
営業利益(△損失) (百万円)	2,046	3,694	1,157	2,094	522	796	△ 294	△ 2,008	△ 324
経常利益(△損失) (百万円)	2,124	3,832	1,196	2,173	542	763	△ 106	△ 1,721	△ 327
四半期(当期)純利益(△純損失) (百万円)	766	1,506	△ 141	17	△ 1,221	△ 1,164	△ 1,094	△ 7,188	△ 440
普通株式： 1株当り四半期(当期)純利益(△純損失) (円)	36.98	70.81	△ 6.90	0.87	△ 63.95	△ 62.82	△ 64.47	△ 435.52	△ 28.57
総資産 (百万円)	51,100	52,319	49,965	49,409	46,516	42,863	40,358	32,500	30,782
純資産 (百万円)	44,986	46,154	45,102	44,494	40,985	38,351	36,558	28,521	27,440
普通株式： 1株当り純資産 (円)	2,172.69	2,227.19	2,214.68	2,246.51	2,197.63	2,200.09	2,166.22	1,832.50	1,778.23
1株当り配当金 (円)	12.00	22.00	10.00	20.00	5.00	10.00	5.00	10.00	5.00

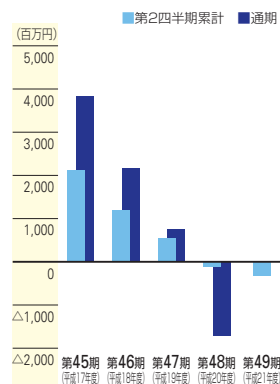
■売上高



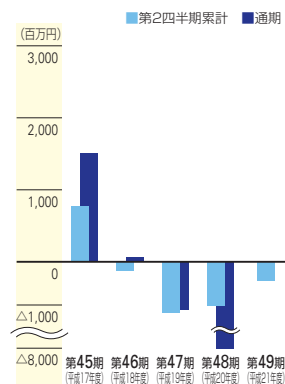
■営業利益(△損失)



■経常利益(△損失)



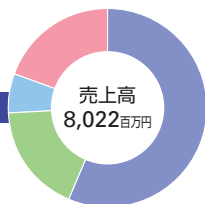
■四半期(当期)純利益(△純損失)



連結製品群別売上構成

第49期第2四半期連結累計

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

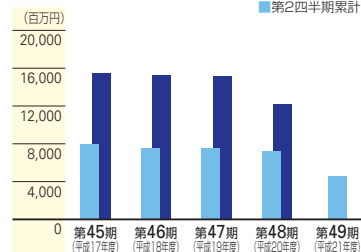


■エンブラ事業	4,535百万円 (56.5%)
■半導体機器事業	1,434百万円 (17.9%)
■LED関連事業	508百万円 (6.4%)
■オプト事業	1,543百万円 (19.2%)

エンブラ事業

グローバル営業体制強化による既存顧客への拡販、新規ビジネス獲得を積極的に推進してまいりました。主力製品のOA機器の市場在庫が減少し一部売上を伸ばしたものの、自動車関連製品の世界的な生産・在庫調整による受注減少等により、当第2四半期累計期間の連結売上高は4,535百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

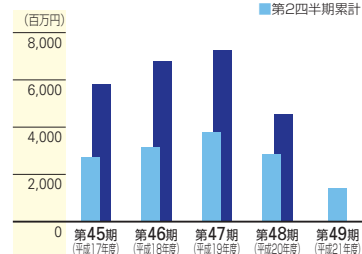
売上高



半導体機器事業

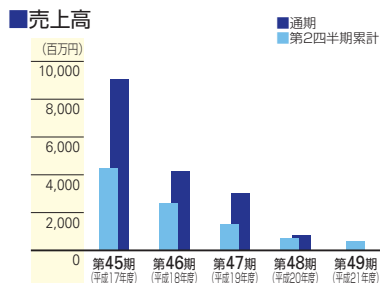
戦略開発製品の積極的な上市とグローバル営業体制強化によるシェア拡大を推進してまいりましたが、景気後退による半導体市場の更なる減速とグローバル競争の激化による販売価格の下落が更に顕著化し、当第2四半期累計期間の連結売上高は1,434百万円（前年同期比49.6%減）となりました。

売上高



LED関連事業（旧液晶関連事業）

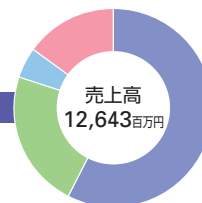
固有技術である光束技術を駆使した高効率、高品位の導光板製品の開発と上市、及び拡散レンズによる市場開拓を積極的に推進してまいりました。既存製品では価格競争激化による受注の大幅減少になったものの、新製品で売り上げを伸ばし、当第2四半期累計期間の連結売上高は508百万円（前年同期比21.8%減）となりました。



連結製品群別売上構成

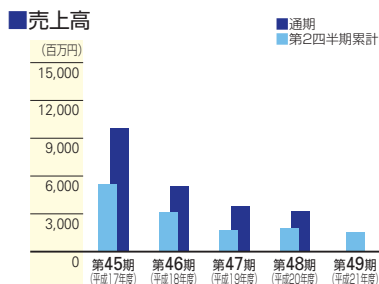
第48期第2四半期連結累計

(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)



オプト事業

主力工場をEnplas (Vietnam) Co., Ltd. に移管し、生産体制の強化と営業体制拡充による戦略顧客への積極的な販売活動を行いました。一部顧客の需要回復が見受けられるものの市場の成長を促すには至らず、当第2四半期累計期間の連結売上高は1,543百万円（前年同期比17.6%減）となりました。



■エンブラ事業	7,272百万円 (57.5%)
■半導体機器事業	2,846百万円 (22.6%)
■LED関連事業	650百万円 (5.1%)
■オプト事業	1,873百万円 (14.8%)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当四半期	前四半期	前 期
	平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在	平成21年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	19,580,038	25,392,837	21,166,120
現金及び預金	12,079,626	13,900,225	14,069,708
受取手形及び売掛金	4,717,925	6,341,174	4,170,240
有価証券	700,000	2,300,000	700,000
棚卸資産	1,015,896	1,523,627	1,198,953
その他	1,084,413	1,333,785	1,036,183
貸倒引当金	△ 17,823	△ 5,975	△ 8,965
固定資産	11,202,399	14,965,745	11,334,350
有形固定資産	9,165,139	13,042,297	9,525,479
建物及び構築物(純額)	3,935,488	5,622,278	4,073,663
その他(純額)	5,229,650	7,420,018	5,451,816
無形固定資産	679,025	410,785	375,510
のれん	1,777	3,555	3,925
その他	677,248	407,229	371,585
投資その他の資産	1,358,234	1,512,662	1,433,359
資産合計	30,782,437	40,358,583	32,500,470

(単位：千円)

科目	当四半期	前四半期	前 期
	平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在	平成21年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	3,019,464	3,192,741	3,589,246
買掛金	962,456	1,309,587	572,131
未払法人税等	132,837	267,898	108,711
賞与引当金	301,644	439,302	398,303
その他	1,622,526	1,175,953	2,510,099
固定負債	322,285	607,124	389,815
退職給付引当金	63,219	41,160	54,361
役員退職慰労引当金	26,496	38,443	26,075
その他	232,569	527,521	309,377
負債合計	3,341,749	3,799,866	3,979,061
(純資産の部)			
株主資本	28,663,088	36,768,589	29,438,415
資本金	8,080,454	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,975,889	10,975,889	10,975,889
利益剰余金	17,525,650	24,240,937	18,060,436
自己株式	△ 7,918,905	△ 6,528,691	△ 7,678,364
評価・換算差額等	△ 1,416,390	△ 421,653	△ 1,102,980
新株予約権	24,139	—	—
少数株主持分	169,850	211,780	185,973
純資産合計	27,440,687	36,558,716	28,521,408
負債及び純資産合計	30,782,437	40,358,583	32,500,470

■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	8,022,371	12,643,656	20,796,671
売上原価	5,611,964	9,219,145	15,888,002
売上総利益	2,410,406	3,424,510	4,908,669
販売費及び一般管理費	2,734,865	3,719,053	6,917,051
営業利益(△損失)	△ 324,459	△ 294,543	△ 2,008,382
営業外収益	85,607	202,771	319,962
営業外費用	88,603	15,158	32,948
経常利益(△損失)	△ 327,455	△ 106,930	△ 1,721,367
特別利益	89,430	34,075	52,000
特別損失	89,152	622,927	5,321,669
税金等調整前四半期(当期) 純利益(△純損失)	△ 327,177	△ 695,782	△ 6,991,037
法人税、住民税及び事業税	103,656	218,622	241,812
法人税等調整額	8,050	181,081	△ 33,092
少数株主利益(△損失)	1,744	△ 633	△ 11,126
四半期(当期)純利益(△純損失)	△ 440,630	△ 1,094,851	△ 7,188,630

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 965,344	954,607	1,686,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 442,248	△ 204,071	△ 1,776,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 321,291	△ 748,314	△ 1,986,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 193,317	20,804	△ 114,251
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 1,922,202	23,026	△ 2,190,135
現金及び現金同等物の期首残高	13,883,700	16,073,835	16,073,835
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	△ 4,134	—	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,957,363	16,096,862	13,883,700

会社概要

商号	株式会社エンプラス
所在地	埼玉県川口市並木二丁目三十番一号
設立	1962年2月21日
資本金	80億8,045万円

役員

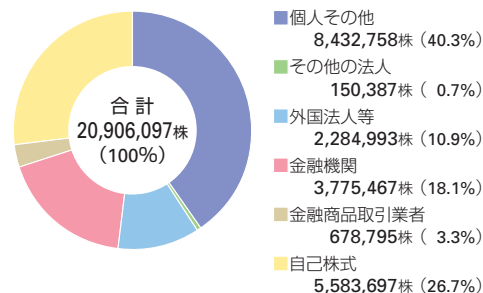
代表取締役社長	横田 大 輔
取締役	酒井 崇
取締役	菅原 昇
取締役	菊地 豊
取締役	小林 大三
取締役	笹倉 邦保
常勤監査役	坂下 光一
監査役	鈴木 貞男
監査役	落合 栄

株式情報

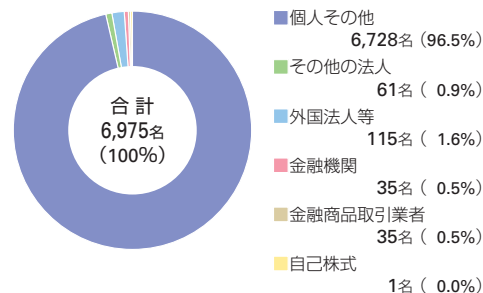
発行可能株式総数	62,400,000株
発行済株式総数	20,906,097株
株主数	6,975名

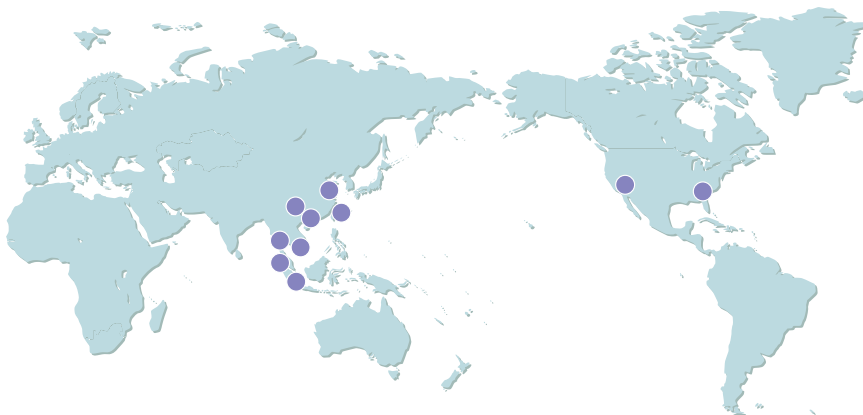
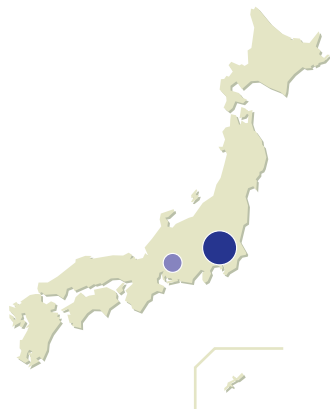
所有者別株式分布状況

所有者別株式数



所有者別株主数





事業所

本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

川口事業所

埼玉県川口市弥平2丁目20番10号

鹿沼工場

栃木県鹿沼市さつき町7番2

名古屋営業所

愛知県名古屋市中村区名駅2丁目45番7号 松岡ビル12階

国内グループ会社

QMS株式会社

埼玉県川口市上青木1丁目3番12号

株式会社エンプラス半導体機器

埼玉県川口市上青木1丁目19番57号

株式会社エンプラス精機

栃木県鹿沼市茂呂827番地3

海外グループ会社

Enplas (U.S.A.), Inc.

1901 West Oak Circle, Marietta, Georgia 30062, U.S.A.

Enplas Tesco, Inc.

765 North Mary Avenue, Sunnyvale, CA 94085-2909, U.S.A.

Enplas Hi-Tech (Singapore) Pte. Ltd.

No. 28 Genting Lane, #07-03/04/05, Singapore 349585, Republic of Singapore

Enplas Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

No.9&9A Jalan Hasil 2, Kawasan Perindustrian, Jalan Hasil 81200 Johor Bahru, Malaysia

Enplas Precision (Thailand) Co., Ltd.

Hi-Tech Industrial Estate 104 Moo 1, Bhan Lain, Bang Pa-In, Ayutthaya 13160, Thailand

Enplas (Vietnam) Co., Ltd.

K-3 Plot, Thang Long Industrial Park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam

Enplas Hy-cad Electronic (Shanghai) Co., Ltd.

Floor 1, Standard Industrial Building 3, No.253 Ai Du Road, Shanghai Waigaoqiao Free Trade Zone, Shanghai 200131, P.R.C.

Guangzhou Enplas Mechatronics Co., Ltd.

Floor 1, Standard Building 1, Hexing Industry Park, 10 Yongsheng Road, Yong He Economic Zone, Guangzhou Economic & Technological Development District, Guangzhou City 511356, P.R.C.

Enplas Niching Technology Corporation

4F-1, No.27 Puding Road, Hsinchu City, 300 Taiwan, R.O.C.

Enplas (Hong Kong) Limited

Suite 515, 5/F World Commerce Centre, Harbour City, 11 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社本店および 全国各支店で行っております。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎0120-49-7009
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 (http://www.enplas.com) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済 新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET (http://info.edinet-fsa.go.jp/)にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

■住所変更・単元未満株式の買取等のお申し出について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

■未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

■上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金については、株主様あてに

配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務付けられました。

配当金領収証にてお受け取りの株主様には、平成21年中にお支払いした配当金に係る「支払通知書」を本年末または来年初にご送付いたしますのでご承知置きください。口座振込を指定されている株主様には、ご送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

株式会社 エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
Tel : 048-253-3131 (代表)
Fax : 048-255-1688
<http://www.enplas.com>

